

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」女池神明校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	プログラム内容に合わせ、適切な支援スペースでのサービス提供に努めます。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、保育士等を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子様が楽しく通っていただけるよう、明るく楽しいファシリティを取り入れています。また指導室内は、お子様の注意集中のため、飾りつけなど極力せず、シンプルな内装としております。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			引き続き定期的な清掃を実施します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日次・週次で職員参加のMTGを実施しています。半年に1度、教室内全体での目標設定を行い、各自担当を持って実施しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社HPにて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		1ヶ月の初任者研修を実施し、その後もすべての指導員に継続的に研修をおこなっています。	新潟市等外部での研修にも積極的に参加し質の向上に努めます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○	計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。	お子さまの成長によりお力になれるよう計画作成スキルの向上に努めます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントを支援に適切に活かせるよう努めます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○	お子さまのアセスメント・保護者様のニーズをもとに支援内容の設定を行っています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	個別支援計画に基づいた療育支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	お子さまの事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追求します。次の学びにつながる成功体験を重視し、やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動をとったり、学びやすい指導環境をつくりま	お子さま保護者様のニーズ等に合わせ、より成長のお力になれるよう質の向上に努めます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	毎回指導記録をとり、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	担当相談員と情報共有を行い必要性を判断しています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○	お子様の支援について担当制はとっておりませんが、児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握しチームでの支援を展開しています。会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当するスタッフ1名程度で参画することが多くなっております。		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	○	保護者様や園の先生、保健師などのご要望にお応えし情報共有を行っています。		
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○	連絡票を用いて情報提供できる体制を整えています。		
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○	連絡票を用いて情報提供できる体制を整えています。		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	○	外部専門家による研修や教材・プログラムの監修をおこなっています。		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	○	地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしていません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置づけた上で実施いたします。		
	㉘	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	○	他関係機関との会議等へ積極的に参加しています。		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	○	毎回の支援終了後に、保護者様へフィードバックの時間を設けています。	適切なフィードバックができるよう質の向上に努めます。	

	①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています。	
保護者への説明責任等	②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示面談時に説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。	
	③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。	適切な助言等が行えるよう質の向上に努めます。
	⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。座談会等を不定期開催しています。	
	⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		事業所内に意見箱を設置する、事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置しています。いただいた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。	
	⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しています。	
	⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	
	⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様・保護者様の状態に応じて、ICT やその他視覚的情報などを活用	

				して意思疎通・情報伝達等を実施しております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	教室によっては指導の様子を公開したり、教室開放の時間を設けています。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。月1回の避難訓練を実施しています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○	都度お子さまの状態を確認させて頂いております。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは、必要に応じて契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」女池神明校 保護者等数（児童数）：22 回収：9 割合：40%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2	1	0	・せまく感じる ・体を動かす際はもう少し広く取っても良いと思うが通常は適切な広さだと思う。	可能な範囲でお子さまの支援に必要な広さで提供できるよう配慮したいと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	1	0	・専門性に疑問を感じる。	継続して専門性の向上にと止めたいと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	3	0	0	・トイレに紙タオル等があると尚よい。	設置させて頂きました。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	0	0	0		

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	0	2	3	保育園に行っている。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1	1	4	ペアトレがあると尚よいと思う。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1	0	0	毎回の振り返りの時間はとても有意義と感じる	引き続き保護者様と一緒にお子さまの成長等を共有させて頂きたいと思います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	3	0	0	・専門性を高めてほしい ・申し越し踏み込んで子どもとの関わりのアドバイスがほしい。	継続して質の向上に努めていきたいと思います。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	2	4	・保護者同士の交流は特に求めている。 ・小集団の支援も良いと感じる。	不定期にはなりますが交流会を開催したいと思います。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	1	2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	2		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	2	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	0	0	3		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	0	0	5	説明はあったが実施はわからない。	お子さまへの支援に支障がないよう実施しております。

	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	0	1	7		
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0	毎週楽しみにしている。	
	㉑	事業所の支援に満足しているか	7	1	0	0	・個別支援のメリットは存分に発揮されている。 ・自閉症の理解を深めてほしい	継続して自閉症含め支援の質の向上にと努めたいと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。